



文教の杜ながい



ARAKAWA TAKASHI

ROMANA MACHIN TANIMURA

NAGANUMA KOZO

時代と形式を超える3作家

彫刻の対峙

レリーフ

立体と平面の狭間で表現を試みる
「彫刻家」×「彫金作家」×「現代美術家」
による、時代と形式を超えた協演

2023 **8.18 Fri**
- 9.18 Mon

*月曜・8月31日(Thu)は休館

10:00-17:00 入館は16:30まで

場所：文教の杜ながい 旧丸大扇屋(内蔵・新蔵)
入館料：無料



絵画、彫刻、工芸など、古来より造形美術はいくつかの形式に分類され、それぞれ独自の材料や技法が確立していきました。それらは互いに影響を与え合い、時にまじりあいながらも、現代にいたるまでその形式分類は維持され続けています。その中でレリーフ表現は、建造物の一部として、または装飾品やコインという形で、さらには絵画と彫刻といった形式を横断し越境するように存在してきました。本展では、それぞれの立場でレリーフ的な表現に取り組む3作家を紹介し、時代と形式のみならず、地域や評価軸をも越えて新しい価値を創造することを試みます。

長井市名誉市民の 物故彫刻家



NAGANUMA KOZO

長沼 孝三 1908~1993

長井市生まれ。1931年東京美術学校を卒業し、同年帝展に入選。以降日本彫刻界の frontline で活躍。また長井市章をはじめ、グラフィックデザイナーとしても多くの作品を残し、レリーフにはその両方の技能や感性が遺憾なく発揮されている

- 主な経歴 1941年 聖戦美術展で「英霊」陸軍大臣賞受賞
- 1942年 文部省美術展で「若人が行く」特選受賞
- 1949年 上野駅前広場に野外彫刻「愛の女神」を制作



健康第一

郷土のベテラン 彫金作家



ARAKAWA TAKASHI

荒川 孝 1942~

長井市生まれ。1974年ヒコ・みづのジュエリーカレッジ卒業後、クラフトジュエリーと女性服のオーダーメイド店を開店。その後、銅板レリーフ作品の制作を開始。会社勤めの傍ら地道に制作を続け、県内外で高い評価を受ける。

- 主な経歴 日本新工芸東北展にて新工芸会長賞(3回)
- 山形県美術展にて県美展賞(3回)



花の少女

モンスターとやってきた 現代美術家



ROMANA MACHIN TANIMURA

谷村 メイチンローマナ 1998~

東京都生まれ。2023年に東北芸術工科大学修士課程芸術学部複合芸術領域を卒業。ソフトビニールフィギュアやカートゥーンからの影響を基点に、発泡ウレタンなど多様な素材から「家臣のモンスター」を生み出し続けている。

- 主な経歴 2021年「アートアワードトーキョー丸の内2021」東京駅丸ビル1Fマルキューブ(後藤藤雄賞、東京都)
- 2023年「サヨナラ! / The Penultimate Truth 最後から2番目の真実」NACC(日本橋アナーキー文化センター、東京都)など。



ヒラメキラメキ子爵夫人
「メロリヌ・モントレール」

TALK EVENT

レリーフって何だろう？その歴史と魅力について

9月9日(土) 14:00~15:30 文教の杜ながい・旧丸大扇屋

宮本 晶朗

東北芸術工科大学文化財保存修復学科准教授

井戸 博章

彫刻家
修復師

レリーフ表現の歴史や特徴を紐解きながら、出品作を考察するトークショー 予約不要・参加無料



WORKSHOP I たたいてつくる SHOP I 銅板ネックレス

9月10日(日) 13:00~16:00 小桜館

講師 荒川 孝(彫金作家)

3×4cm大の銅板を叩いてオリジナルのネックレスを作ります。

定員:10名
参加費:1,000円(税込)



WORKSHOP II オリジナル SHOP II モンスターをつくらう

9月18日(月) 13:00~16:00 小桜館

講師 谷村メイチンローマナ(現代美術家)

不思議な素材を使って、君も家臣のモンスターを生み出そう!

定員:10名
参加費:1,000円(税込)



お問い合わせ・ご予約 一般財団法人 文教の杜ながい

山形県長井市十日町1-11-7 Tel:0238-88-4151

